

たのしい花 もう一度

「まあ なんとよいお天気でしょう

雨がさわやかでいいわ

と言つてみたい

今日も雨 すすばい雨ではない

いといと とらうとおしい

あつい と思うにう そうでもない

エアコト の風が さむい と思うことも

ある

現在 下着のミヤツ 一枚びり

こんな かつこう さんて 言つていられたい

これびり度あり

エアコト にゆき筋さよ と思ひをわたり

うちわで あおいでいよ

こんな六月 はじりて

もうすぐ 本格的 夏つさが来る

いやだわ と思うにわ

環境が そろそろの かわ しれあひ

五十年代 六十年代の 写真を見たり

部屋を花 いっぱいにして

それが いかにも たのしそうに

つたわつてくる

どちらを見ても 花<sup>ハ</sup>花<sup>ハ</sup>

今も こん存月<sup>ツキ</sup>だつてう

たのし いた ききうている

この花も どこにうえよう

こん存にうえ花を 美しくおきたい

小さい<sup>チ</sup>子<sup>コ</sup>ブル<sup>ブル</sup>にあう

やはり花台<sup>ハナダイ</sup>がいいかな

どうしようも ないほど 子<sup>コ</sup>に<sup>ニ</sup>さ<sup>サ</sup>れ<sup>レ</sup>て<sup>テ</sup>い<sup>イ</sup>よ

いつのまにか

たのしい<sup>ニ</sup>かへつて来た

花<sup>ハ</sup>台<sup>ダイ</sup>と どこにもない

今<sup>イマ</sup>令<sup>レイ</sup>花<sup>ハ</sup>をかきわたる 生活<sup>セイゴ</sup>に<sup>ニ</sup>な<sup>ナ</sup>つ<sup>ツ</sup>て<sup>テ</sup>い<sup>イ</sup>よ

生活<sup>セイゴ</sup>の<sup>ノ</sup>し<sup>シ</sup>か<sup>カ</sup>た<sup>タ</sup>で 居<sup>イ</sup>る<sup>ル</sup>も<sup>モ</sup>変<sup>ヘ</sup>え<sup>エ</sup>

2024  
6/29